
ボブ&ジョニー

涼鈴

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ボブ&ジヨニー

【Nコード】

N8464Q

【作者名】

涼鈴

【あらすじ】

ケツアゴ星から王位争いによって追い出されたキモイ王子ジヨニーと

なぞの黒人ボディビルダーのボブとその彼女達がくりひろげるキモイ日常。

今日も彼らはキモイ事件を引き起こす。

キャラクター紹介（前書き）

この物語は決してケツアゴの人やボディビルダーの人を敬遠した内容ではありません。もし、不快な思いをされたかたがおりましたら謝罪いたします。大変申し訳ございません。

キャラクター紹介

ジヨニー・・・ケツアゴ星からやってきた王子

王位争いで星を追い出され地球でケイコという女性と交際中。

いうまでもなく、ケツアゴで金髪の天然パーマ。

無駄に瞳がきらめいているのが腹立たしい。

やたら語尾に「」をつけたがる相当なうざさの持ち主。

ボブの大親友。

ボブの大親友。

口癖は「流石だボブ 君はやっぱり天才だ」

ボブ・・・出生地は不明だが現在は日本に住み着いている黒人のボディービルダー。

現在はシオリという女性と交際中。

がつちりとした体格と無駄にきらめく瞳のギャップがまた気持ち悪いと彼女に定評。

やたら語尾に「」をつけたがる相当なうざさの持ち主。

ジヨニーの大親友。

得意技は万引きをするとき窓をわって逃走すること。

ケイコ・・・ジヨニーの彼女。現在高校2年生。

何をまちがってこんなケツアゴを彼氏にしたのかと後悔中。

シオリ・・・ケイコの同級生でボブの彼女。

何をまちがってこんなボディービルダーを彼氏にしたの

かと悶絶中。

不法侵入者ボブ 1

ボブは最近連絡のない彼女の家へ行った。

しかし、家の人は彼女にあわせてくれなかった。

そこで、ボブはひとときわ大きい窓を割って家へ入った。

ばりーん！！

「会いたかった！！！」

しかし、そこにいたのは知らない人だった。

なぜなら彼は入る家を間違えて隣の家へと入ってしまったからだ。

こうして、彼は非常事態を聞きつけた警備員にしょっぴかれてしまった。

警備員にしょっ引かれたボブは最初信じられていなかったが友人の積み上げた献金によって誤解は解け、釈放された。

「ふう〜！危なかったぜ相棒！！」

『あれくらいの値段ならマミーに言えばなんとかなると思ってね』

実はこう見えて彼の友人は宇宙人でNASAから追われていたのだ。

もちろん、友人である彼はこのことを秘密にしていたがボブにはすべてばれていた。

「ボブ・・・今度こそちゃんと玄関から入れよ・・・。」

「当然、あんな間抜けな姿をいとしのハニーに見せるわけないさ」

「しかしボブ、一度門前払いを食らったのでは・・・？」

「相棒！俺をなめるなよ 俺には秘策があるんだ！これでハニーの心は俺のものさ」

「ボブ、その秘策とは？」

「ダンボールに俺とこのフルーツを入れて宅配するんだ！そうすれば門前払いにはあわないだろ！？」

「さすがだボブ！君は天才だ！！！」

脳みそまで筋肉のボブは果たして愛しのハニーにあえるのだろうか・・・？

続く。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8464q/>

ボブ&ジョニー

2011年2月20日14時20分発行